

年 組 名前：

問1

「陽咸二 新春南京豆細工展」は  
どこで開かれていますか。

.....

問2

彫刻家・陽咸二は、何を使用した  
作品を多く手がけ、特に力を  
入れた材料は、何ですか。

・多く手がけた作品の材料

.....  
.....

・特に力を入れた材料

.....

陽咸二の南京豆細工が並ぶ展示スペース  
|| 富士川町立図書館



### 南京豆細工 福々々

## 富士川町立図書館で陽咸二展

富士川町立図書館は、大正・昭和初期に活躍した彫刻家・陽咸二（1898～1964年）が手がけた南京豆（落花生）の作品展「陽咸二 新春南京豆細工展」を開いている。

同館などによると、陽は東京都出身。文部省美術展覧会などで受賞を重ね彫刻業界で活躍した。1

920年代後半からは身の回りにある材料や廃材を使用した作品を多く手がけ、特に南京豆を材料にした細工に力を入れたという。

陽の孫の佐久間雅哉さん「同町高下||が所有する作品約20点を展示。今年のエとにちなんだ「龍」や丸々とした「金太郎」、複数の豆を組み合わせた「宝船」など、豆の形を生かした作品が並んでいる。担当者は「新年にふさわしい福々しい作品が集まった。かわいらしい作品を見てほしい」と話している。

展示は25日まで。午前9時半～午後7時（土日祝日は午後5時まで）。月曜休館（祝日の場合は翌日）。入館無料。問い合わせは同館。電話0556（22）721

南京豆で作られた龍



峡南 深沢 澤

(2024年2月3日付 山梨日日新聞 18面)

問3

次の文章の①から④に当てはまる言葉や数字を、答えてください。

『作品展では、今年のエとにちなんだ「①」や丸々とした「②」、複数の豆を組み合わせた「③」など、豆の形を生かした作品約④点を展示している』

① ..... ② ..... ③ ..... ④ .....